

vol. 14

issued by SAPOSEN
midwinter 2018

特集
p2-4
古民家活用の
今を考える

p5-6_サポセンの事業報告

p6_[チャレンジャー]
出張子育てサポートかまへんよ

p7_[スタッフコラム]
Come Peers!! インタビュー

p7_サポセン新規届出団体

p8_[ある日のサポセン]
“見える化”で状況を共有！



photo : IN kyo-Ya 隠居屋 ©omusubi 不動産

まつど市民活動
サポートセンター

<http://www.matsudo-sc.com/>

特集

古民家活用の 今ラを考える

吹き抜けの心地よい風、思わず寝たくなる
田舎に帰ったような懐かしさ、想像と創造力をかきたてる場所ーー
アートや手仕事で人がつながる古民家「隠居屋 IN kyo-Ya」。
この百年建築が、次の百年も大切に使い続けられていくような、
新しい刺激や発見に満ちた再生の試みををご紹介いたします。

©omusubi不動産



隠居屋 IN kyo-Ya

松戸市南花島中町に、大正時代に建てられた古民家を改装して作られた「隠居屋」。「様々な人が繋がる場」を目指し、現在は子ども食堂などの開催のほか、レンタルスペース(時間貸し)を実施。

(期間限定予定。詳細は omusubi 不動産 HP
<http://www.omusubi-estate.com/?b=inkyoya>)

おいしい食事とお酒を片手にジャズの演奏
を楽しむ「古民家ジャズキッチン」。(2018年7月)



©omusubi不動産

「古民家マルシェ」には雑貨やフード、ドリンクなど、周辺地域で活躍する多彩なお店が一堂に集いました。(2018年9月)



©omusubi不動産

古民家活用やコミュニティづくりに関わるスペシャルゲストを迎えて行われた「古民家お座敷フォーラム」。(2018年6月)



大正時代に建てられ、関東大震災にも耐えたという立派な建物。

コンセプトは「様々な人がつながる場」

「仕事に携わる中で『ここは残した方がいい』といふ気持ちを強く持つように。今作ろうと思つても作れる建物では無いから。家がもう一軒建つくらいの改装費用がかかつたし、さて、これからどうしよう、という感じだけど(笑)当初はレストランを開業したいという方にお貸しする話もあつたけど条件が合わず、様々な場所へ相談する中で「omusubi不動産」と出会い、協力して運営することになり、この場の可能性を探るための実験的なイベントとして「古民家お座敷フォーラム」「古民家JAZZキッチン」「古民家マルシェ」を開催しました。来年には蔵のギャラリー＆カフェをオープンするので、その準備と企画をしているところです。

自分で自分の「居場所」をつくつたんです

「ここに戻つてみたら、通りを歩く人も少なく閑散としていて。『楽しい場所があつたらしいのにな』って思つていました。父母を見るために戻ってきたけど、私が楽しく生きられる場所にしたい。ここに人が集まつて、その中で私も楽しんだりしたいと思って作りました。」

隠居屋を作つたもう一つの理由には、石井さんがお子さんを産むまで携わっていた建築士という仕事が影響しています。

昔

、弟が生まれるまでは『おまえがこの家の跡継ぎだ』って祖母にずっと言っていたの。それがある意味、ホントになつちやつたわ」と、笑いながら話す石井なぎさん。大正6年に建てられた築100年を超える古民家を改装し、地域の人があらゆるやかに集えるスペースとして今年6月「隠居屋IN KYO-YA」をオープンさせました。

南花島の地主の家に長女として生まれた石井さん。年の離れた弟さんは海外在住のため、ご両親を見守る役割を石井さんが引き受け、結婚後暮らしていた横浜から実家の南花島へ戻つてきたそうです。



家が「人」を待つて いる、 そんな空間

「はなしまみんなでごはん」

7月から毎に1度、「はなしまみんなでごはん」という誰でも安心して気軽に来られる子ども食堂を開催。（現在は第3回曜日16時～18時）市内に13カ所あるこども食堂と協力しながら、近所の方や地域で出会った仲間と一緒に運営しています。

「この前、市内で子ども対象の体験活動をしている『たのたのじゅく』の新井さんが子どもたちと一緒に染めてくれた布を、友人のお父様である80代の方に旗に仕立てていただきました。地域には色々な特技を持った方がいて、『こちらが何かをやってあげます』という場もあっていいけど、自分の特技を出せると来る人もより積極的に参加してくれるような気がします。」

「昔から人の出入りが頻繁だったここがガランとしている、もったいない気がして。今大きな力になっている友人や地域で出会った仲間と協力して、毎日何かやっていって、人がいるような場所にしていきたい。」



家が「人」を待つて いる、そんな空間



①「子ども、大人、みんなにとって安心で安全な場をつくりたい」という思いで始めた「はなしまみんなでごはん」。②子どもたちと染め、常連さんが仕立てた食堂の旗。



③④⑤母屋の奥にある蔵を改装した「gallery & cafe 雨讀」。雨の日、静かに自分と向き合うようにゆっくりと時間が流れる場所。10月のプレオープンイベントは大盛況でした。⑥春のオープンに向け、石井さんはコーヒーを淹れるための勉強も。





▼最終報告会の様子



▼交流会の様子



ここから始まる キー・パーソンへの道、 最終報告会＆交流会

5月から全6回にわたって開講してきた本講座、8名の方が最終報告会にてこれから活動プランを発表しました。今回で4年目となりましたが、今年は学生～シニアまで幅広い年代が参加し、中には薬剤師さんや婚活に関わるお仕事をされている方も。報告会には過去に本講座を受講したOB・OGや、たくさんの市民活動団体のリーダーも聞

きに来ました。発表後の交流会や懇親会で新いつながりができ、これから様々なコラボレーションが生まれそうでとても楽しみです。

report

1

まちづくりキーパーソン養成講座・第4期生修了

▽隠居屋 おかみからのメッセージ

隠居屋
おかみからの
メッセージ



©omusubi不動産

一緒に、
自分の持つていていいもの、
みんなが出し合って共有します。
たまわりのあるある、
しましょ。たまう。



IN kyo-Ya

つながる古民家
IN kyo-Ya 隠居屋

松戸市南花島中町196

TEL:090-6019-6432 石井
メール: inkyoya8@gmail.com

report

2

人とチームのつなげ方が分かる! オンラインコミュニティ塾

NPOマネジメント強化プログラム



Attention!
サポセンでは講座に限らず、
こうした団体運営の
お悩みに応じています!
お気軽に
ご相談ください!

「人を上手く巻き込めない…」「後継者が育たずいつも同じ人が負担している…」ボランタリーな市民活動に取り組んでいると、多くの団体がこのような「組織づくり」に関する悩みにぶつかります。本当はもうやりたいことや実現したい理念があるのに、チームとしてのパワーが足りず前に進めない。そんな経験がある方もいるのではないでしょうか?

今回の講座は団体のリーダーを中心対象として、オンラインの動画学習と参加者同士で学び合うスクーリングをセットにした連続プログラムです。11月10日に初回のオリエンテーションが開催され、最年少は高校生からシニアの団体まで定員となる10団体が2月までエントリーしています。



↑バランスもしっかり考えた
「ひぐらしママのお休み処」の
ごはん。



↑八ヶ崎市民センターでは不定期で
ママのためのオープンスペースも開催。



↑保護者が在宅でのお子さまの保育も行います。



←小川るみさんは育児セラピストや
子育てアドバイザー等の資格も
取得しています。

〈チャレンジャー〉
市民活動団体紹介

出張子育て サポート かまへんよ

Challenger



お問い合わせ

E-mail kamahennyo@gmail.com
TEL 090-6141-8903

地域で見守る子育てを目指し 子育ての中の「困った!」をリアルにサポート。

「『親』と『子』ともに」を合言葉に18才までの子どもの見守り・外出同行・家事サポートを行う事業を立ち上げた小川るみさん。忘れないのは「私のダンスの発表会があるから、子どもと客席で見ていてほしい。」という依頼。「自分が踊るために子どもを預けるなんて、祖父母や他のサービスの方だったら何を言われるかわからないけど、小川さんだったら『かまへんかまへん』って受けてくれる気がして。」一お母さんは、自分を閉じ込めて生きている。もっと解放してあげたい、という想いで接しているそうです。11月からは八ヶ崎にある宅老所「ひぐらしのいえ」と協力し「ひぐらしママのお休み処」もスタート。ちょっと書類を書きたい、家計簿をつけたい、などママが自分のやりたいことに集中できる時間とあたたかいお昼ご飯を提供。その間小川さんが親の目の届く範囲で子どもたちを遊ばせながら見守る。施設にいるおばあちゃんが子どもを見て目を細める場面も見られ、地域で見守る子育てを目指し活動しています。

「楽しく地域活動を盛り上げよう！ ～「Come Peers !!」インタビュー～」



鈴木康平さん

千葉商科大学の鈴木康平さんが、6月～8月の期間、サポセンの「コーディネーター体験」インターンシッププログラムに参加しました。各種講座のサポートや来館する団体の対応など、積極的に参加してくれた鈴木さん。インターンの集大成として「Let's 体験 !!」の運営補助を鈴木さんと一緒に担った「Come Peers!!(前号の特集記事にも掲載されたボランティア団体)」の紹介レポートを書いてくれましたので掲載します。

1 こめピアとは？

今回自分は、「Come Peers!!」という団体をインタビューさせて頂きました！

こちらの団体は「Let's 体験 !!」のふりかえり文集作成委員の活動を経たメンバーが、2018年4月に学年・性別・職種などの所属にとらわれずにつながる場所を大事にし、活動を通して「地域をちょっと面白く」することを目的に立ち上げました。普段は略して、こめピアと呼んでいます。現在9人で活動しています。

2 活動

こめピアでは現在、主な活動としてサポセンの「Let's 体験 !!」をまとめた冊子（ふりかえり文集）をふりかえり文集作成委員と協力しながら制作しています。メンバーそれぞれの得意分野に応じて、絵を描いたり文章を考えたりしてたくさんの若者に見てももらえるものを制作しています。

「もっとふりかえり文集をたくさんの人達に見てもらいたいので、イラストを増やしてみんなの目に留まるようにしたい」と話すのはメンバーのいくみんさん。

また今年の夏には「Let's 体験 !!」のオリエンテーションやふりかえりの会の企画にも携わり、サポセンと一緒に夏のボランティア活動を盛り上げてきました。

3 経験

みんなが口を揃えて話していたのは、「こめピアに参加していると色々なことが学べる」ということ。活動を通して交友関係が広まることや学外交流があることはとても魅力的だと思います。活動していると年上の方から話を聞いたり、考えが違う人と触れ合うことがあるのでそれだけでも充分勉強になると思います。

4 これから

今後の活動としては、「3月に開催されるみらいフェスタへの出展や、松戸周辺の様々なイベントに参加したい」「メンバーの無理のない範囲でたくさん活動したい」と話していました。これからも楽しく地域活動などを盛り上げていき、そしてこめピアのメンバーも楽しく活動していくなら良いなと話していました。



—インタビューを終えて—

皆さんしっかりしていておとなっぽい印象でした。

考えをまとめるなど経験をたくさん積んでるのかなと思いました。

これからも活発に活動を続けて欲しいと思います。



**サポセン
新規届出団体
を紹介します！**

(2018年9月27日
～11月13日
届出順・敬称略)

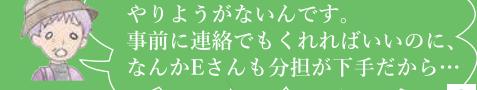
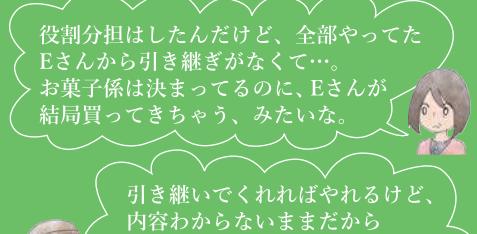
- ★ビューティフルウォーキングプロジェクト(BWP)
- ★地球人 ★日本女子大学 櫻楓会 松戸支部
- ★NPO法人日本吹矢検定 松戸支部
- ★動物福祉団体いのち ★つながる古民家 IN kyo-Ya 隠居屋
- ★デジタルクラブ ★南部バドミントンクラブ
- ★新松戸地区社会福祉協議会 ★きょうどうの会 松戸 ★Tea Pot

皆さんにサポートセンターのことや市民活動のことをもっと知つてもらうために、これまでに寄せられたご質問や実際の出来事などをもとに、仮想のストーリーに仕立てた「Q&A風」のコーナーです。今回は第7話の続編をお届けします！

“見える化”で状況を共有！

「前回のあらすじ」団体メンバーの活動への温度差を、会議を通して確認してみた歌声サークル「ビヨンセのつどい」。

温度差に則つて役割分担したはずなのに、なぜかEさんの仕事量だけ増えているようだ…



“見える化”って、簡単なようで
実は難しいですよね。活動に取り入れると
役立つかも!? …なスキルも、サポセンの講座で
学べます♪ぜひ活用してみてくださいね。



サポセン ニュースレター ぽっく

発行日：2019年1月20日(※年4回発行)

発行元：まつど市民活動サポートセンター(指定管理者 NPO 法人まつど NPO 協議会)
デザイン：トクナガリツコ

「ぽっく」の主な設置場所

松戸市内の図書館、市民センター、
公民館など各種公共施設の他、
松戸駅自由通路に設置しています。

「ぽっく」設置協力店

フェリーチェ(松戸新田)／デジラボ(本町)／
Sampo Café(八ヶ崎7丁目)／
古民家ホームシェア co-no-mi(吉井町2丁目)

ぽっく の配架にご協力いただける お店・施設を募集します！

ニュースレター「ぽっく」を、お店や施設に配架していただけませんか？
ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介
いたします。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。
広告掲載も募集中です。詳しくは、まつど市民活動サポートセンター
まで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。



特集で取材した IN kyo-Ya 隠居屋の女将・石井さん
が「母がはなしまみんなでごはんの日を楽しみにして
いて、毎回近所の方を呼んで楽しそうに話してるの。
それを見ただけで、ここを開いてよかったなと思って」と
と話されていました。自分の開いた場が、身近な人
にも喜んでもらえるって幸せですよね～(菊)

まつど市民活動 サポートセンター

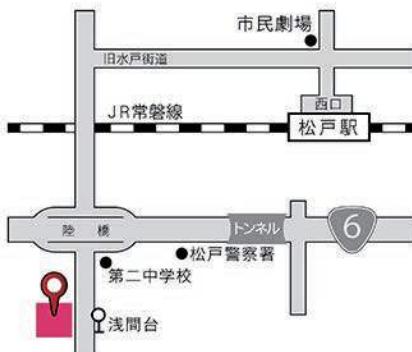
〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内)

TEL : 047-365-5522 FAX : 047-365-5636

E-mail : hai_saposen@matsudo-sc.com

URL : <http://www.matsudo-sc.com/>

facebook : <https://www.facebook.com/matsudo.sc>



○開館時間： 月曜～土曜…9時～21時

日曜…9時～17時

○休館日： 第1・第3水曜、年末年始(12/29～1/3)